



## 岩屋通信第24号

2010（平成22年）5月吉日

早いもので、今年も約5ヶ月が経過しました。  
すっかり、万生館合気万生道長崎北道場の機関誌「岩屋通信」の  
発行をご無沙汰して失礼しておりました。

私事ですが、3月末をもって長年勤めていた職場を、いわゆる  
60歳の定年までには一年早かったのですが、諸般の事情もあっ  
て辞しました。

4月からは大好きな山への単独行それに合気道三昧で過ごせ  
ればと思っていたのですが、生活の糧も一定は必要ですし、それ  
になにより仕事をしないことの方がむしろ退屈できつような  
ことも聞いていたこともあり、4月1日より早速別の職場で働く  
ことになりました。

なにぶん不慣れな仕事で、若い時のようにすぐに新しい仕事の  
要領を覚えられないためたいへんですが、これもまた一つの修行  
とおもって頑張っている毎日です。

そのようなことで、前回までの23号と岩屋通信の様式も大き  
く変わりましたが、より一層会員の皆さん、またそれ以外の合気  
道をこよなく愛する皆さん方が読み易いように、また筆者自身も  
気軽な気持ちで連載できるような様式にしましたのでご理解願  
います。

4月25日（日）12時30分より長崎市民会館文化ホールに  
て、長崎道場の満45周年記念演武大会が開催されました。

当日は天気にも恵まれ、合計55組の演武や舞踊が披露され、  
多数の観客も万生館合気道の素晴らしい技の数々に驚嘆しなが  
ら最後まで熱心に見学していました。

特に最後55番目は、館長の砂泊先生による説明演武で、久し

ぶりの先生の本県来訪であったこともあり、感激ひとしおでした。

なお、長崎北道場からは、

- ・ 6 番目：自由技  
    弐段 森脇 裕司  
    初段 田中 侑
- ・ 15 番目：自由技  
    参段 市川 恵子  
    参段 松尾 百香
- ・ 43 番目：武器三人掛  
    投) 七段 濱田 忠道  
    受) 五段 村里 喜久己  
        四段 古屋 正純  
        四段 吉田 強

以上の3組が出場して、いずれも迫力ある技を披露しました、出場の皆さんたいへんお疲れ様でした。

なお、見学に来てくれた当道場の会員の皆さんにもこの場をおかりして厚く御礼申し上げます。

北道場では、最近幼年部会員がたいへん増えてきております。そもそも北道場に発足の目的の一つに地域活動の一環としての合気道であることを主眼の一つに上げていたことから、このこと自体はたいへん素晴らしいことだと思います。

引き続き、幼年部の指導者の皆さんはたいへんですが、よろしくお願いします。

なお、7月は今年2回目となる道場内の演武大会ですので、幹事の方はよろしくお願いします。

今年、当道場は設立8周年です。夏頃に道場一般会員と幼年部の父兄との意見交換会的な懇親会を予定しておりますので、その節は多数のご参加をお願いします。